

教育委員会における自己点検及び評価（内部評価）

1. 内部評価結果（総括）

平成20年度の活動を反省し、本市教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興を図るため、教育行政の活性化に努め、概ねその職責を果たした。

平成22年度においては、今までの自己点検及び評価を行った結果を受け、様々な改善に取り組んでいるところである。

2. 評価シート①：「教育委員会の活動状況」

【内部評価結果】

- ・ 教育委員会の構成については適正である。
- ・ 行政等が主催する行事に対して、出席努力・自主判断の区分をしている。前年度との比較では減となっているが、前年度の特特殊性によるものの減であるため、活動量としてはその職責を果たしている。
- ・ 教育委員会会議については、開催回数、出席の状況とも問題ないものとする。
- ・ また、前期教育委員会の位置づけを原則として勉強会としたことで、任務遂行の上で有意義であった。
- ・ 一方、教育委員会をより開かれたものにするために、定例教育委員会の記録をネット上で公開したり、予定期日・議事内容について情報提供したり、あるいは移動教育委員会を開いてより傍聴しやすい環境を作ることを検討するなど、その改善に取り組んでいるところである。
- ・ 教育委員会会議の公表については、傍聴者がなかったことから、平成22年度は、その改善に取り組んでいるところである。
- ・ 首長との意見交換を実施することができ、昨年度からの改善が見られた。平成22年度も継続することとするが、今後については、地域住民及び校長や関係機関・団体等との意見交換・情報交換が必要である。
- ・ 学校訪問については、出席率が上昇したことから、一定の改善が図られたといえる。

3. 評価シート②：「教育委員会が管理・執行する事務」の内部評価

- ・ 今年度は、特に「教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること」のうち、特に平成22年度予算の審議にあたって改善した。
改善の内容としては、平成20年度では予算の復活折衝の前段で協議を行っていたところであるが、時期を早め、財務部に意見を申し出る前に議題として協議した件である。
これにより、首長に対し、教育委員会の意見を伝えることができたものである。
- ・ 自己点検及び評価を行う3年目となるが、教育委員会会議の運用方法について、会議資料の事前送付など様々な改善が図られた結果、評価を行う以前と比較した場合、議論が活発化された。

4. 評価シート③：「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」について 別紙のとおり